

篠崎第二小学校応援団実践報告書



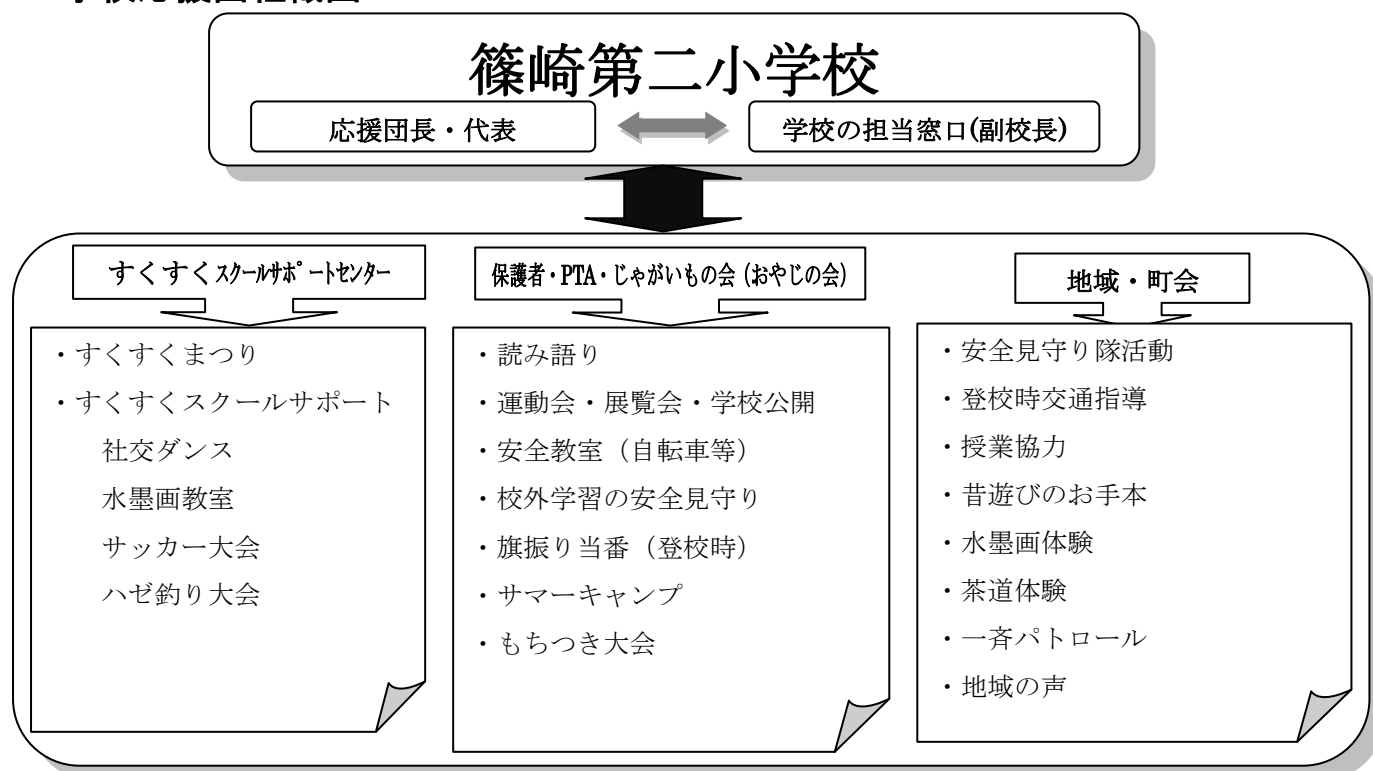
1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第二小学校長 長 倉 理
代表 佐々木 仁

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	旗振り 登下校パトロール 安全教室 校外学習の引率補助 学校行事の際のパトロール	○登校時の安全を見守る。 ○通学路で登下校の安全を見守る。 ○自転車教室等でのお手伝い。 ○校外学習をするときの安全支援 ○会場及び周辺の安全確認パトロール
学習活動	昔遊びお手本 ミシン学習支援 調理実習支援 図工学習支援 小松菜栽培支援 茶道指導 水墨画指導	○昔遊びの支援をして、一緒に楽しむ。 ○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○小松菜栽培の指導や体験の支援 ○総合的な学習での茶道の指導 ○総合的な学習での水墨画の指導
読書活動	読み聞かせ 図書室整備	○学級に入って本の読み聞かせをする。 ○本の修理や本の整頓を行う。

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

篠崎第二小学校のさまざまな教育活動に、「学校応援団」の方々の協力を得ることができました。朝の読み聞かせは低・中学年を中心に行われ、「読書科」の実施に向けて、子どもたちが読書への興味・関心を高めることとなりました。授業では、校外学習時の安全確保や6年生の「茶道」「水墨画」など専門的な要素の高い内容を地域の専門家の方にお越しいただき実施することができました。その他にも、学校行事の際の安全パトロール、小松菜作りの協力など多くの場面で応援をしていただきました。

<課題>

学校応援団は、これまでも「おらが学校」のために一肌脱ぐ方々で実質的に組織されてきました。本校では開校当時から脈々と続く「応援団」魂が受け継がれ、現在、「篠崎第二小学校学校応援団」として教育活動のサポートをいただいています。そのサポートは副校長を窓口として各応援団員の方々に依頼をし、協力していただいています。今後、地域人材の発掘と学校応援団の理解を求めていくことが課題です。

5 代表より

地域の方々の中には、自分自身がまたは子どもが篠崎第二小学校にかかわった方が多いようです。母校のために何か協力ができないかと思っている方は多いです。コーディネーターとしてそのような応援の「心」と学校からの「要望」をつなぎ合わせて、篠二小の教育がさらにより良いものにしていこうと考えています。



6 学校長より

いつも、篠崎第二小学校のために様々な場面で、保護者、地域の方々に支えていただいています。子どもたちの安全と学びの向上のために、付き添っていただいたり、パトロールをしていただいたりと、その応援ぶりには頭の下がる思いです。こうした保護者・地域の方々の姿そのものが子どもたちにとって、「ふるさと江戸川」を知る良質な『教材』となっています。今後とも、子どもたちが健やかに育つ学びの場としての学校を応援団の方々と一緒に創っていきたいと考えています。

